

週間漁海況情報—第40号

平成24年10月9日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

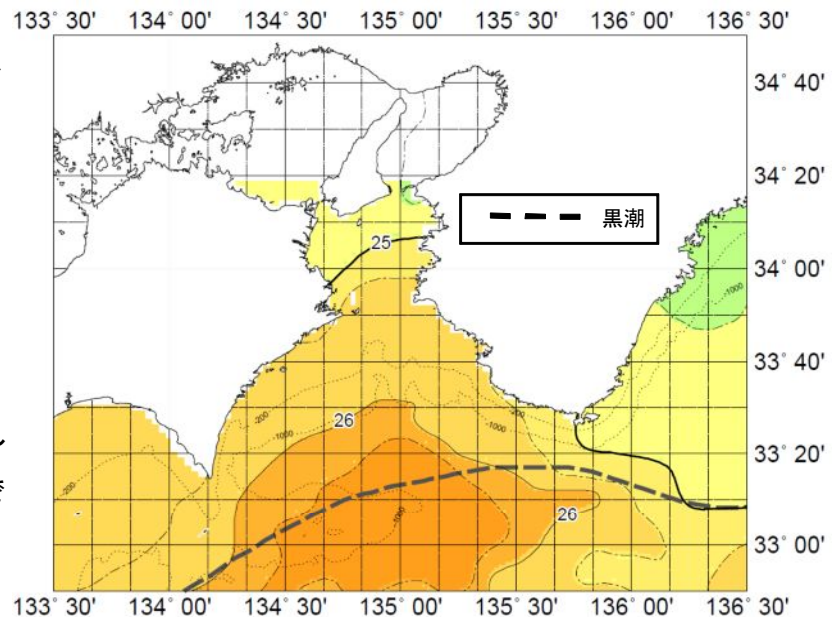
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.10.9）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道で24～25℃台、海部沿岸で24～25℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。

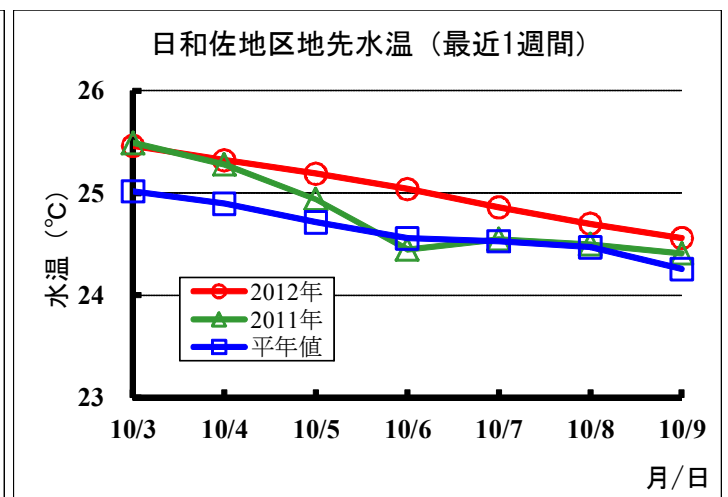
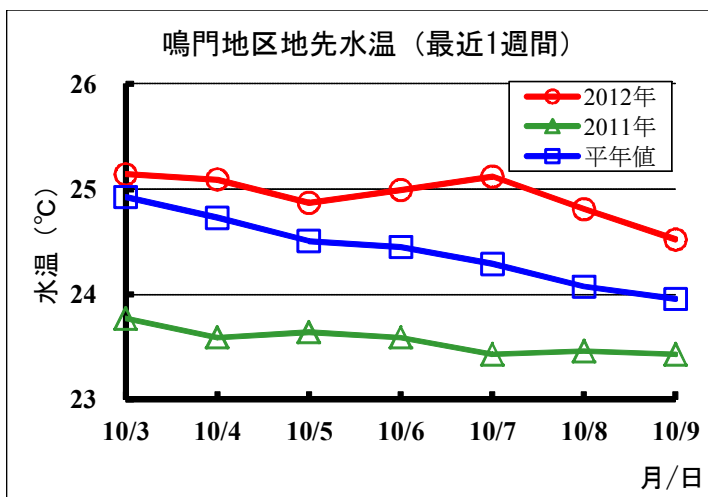


地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の24.5～25.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.6～25.5℃、牟岐地区は「平年並み」の24.0～25.3℃で推移した。

漁業調査船「とくしま」で10月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～30m層において、「やや高め」の25.8～26.0℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
10/2	今年値	26.0	25.8	25.9	25.9	31.2	31.3	31.3	31.6
	平年偏差	1.1	1.1	1.1	1.2	-0.5	-0.5	-0.5	-0.4
	前年偏差	1.1	1.0	1.0	1.0	0.8	0.6	0.7	0.8



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.7トン（1日1隻あたり35kg）、カワハギが0.3トン（同41kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.3トン（同19kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同18kg）、マルソウダが0.3トン（同15kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.9トン（同35kg）、特大主体にカツオが0.2トン（同30kg）、中主体にキハダが0.3トン（同25kg）、紀伊水道で、中主体にサワラが0.5トン（同36kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが37.5トン（同625kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 10月1日～10月7日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	19	671	35	大主体
		カワハギ	7	288	41	
小型定置網	海部沿岸	マアジ	14	265	19	小主体
		マルアジ	14	258	18	小主体
		マルソウダ	22	328	15	
釣り	海部沿岸	タチウオ	25	880	35	大主体
		カツオ	7	212	30	特大主体
		キハダ	10	253	25	中主体
	紀伊水道	サワラ	14	510	36	中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	60	37,500	625	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月3日～10月9日には、海部沿岸では、建網で、カワハギが0.2トン、小型定置網で、アカカマスが1.6トン、カマス類が2.3トン、カンパチが0.4トン、スマが0.2トン、小主体にタチウオが4.8トン、小主体にヒラソウダが0.3トン、マルソウダが0.2トン、ゴマサバが1.2トン、紀伊水道では、釣りで、中・小主体にサワラが1.2トン（同44kg）、特大主体にタチウオが0.2トン、パッチ網でシラスが61.8トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の23～24℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の24℃台で推移する見込み。